



# SIMOT Research Center NEWSLETTER

No.6 2006.3



- 第2回年次国際シンポジウム報告 特集号

東京工業大学 インスティテューショナル技術経営学リサーチセンターニューズレター

東京工業大学にて、第2回となる国際シンポジウムを2月27、28日の両日開催しました。本シンポジウムでは、「Inside the Black Box」などの名著を著されたネイサン・ローゼンバーグ 米スタンフォード大学名誉教授や「死の谷、ダーウィンの海」などの概念でも知られるルイス・M・ブランスコム 米ハーバード大学名誉教授など本分野の泰斗による最先端の講演を行うとともに、SIMOTメンバーによる研究の進捗状況を報告しました。

## 目次

	ページ
● トピック	相澤学長を交えたイノベーション論議 1
● 特集	第2回年次国際シンポジウム報告 2
● 最近の動き	海外出張 4
● イベント予定	平成17年度後期 SIMOT RA・ポスドク研究報告会 IMD and Tokyo Institute of Technology Meeting 4
● 連絡先	4

## トピック

### イノベーション論議 相澤学長 vs. 技術経済・経営の両泰斗 (3月2日 東工大)

今次シンポジウムの基調講演者として参加された N. ローゼンバーグ並びに L.M.ブランスコム両教授の強い希望もあり、本学 相澤益男学長との会談が3月2日に東工大学長室にて行われ、両教授と相澤学長の間で「イノベーション論議」が交わされました。

両教授が今次シンポジウムから得られた知見を披露された他、イノベーションの創造、日本のインスティテューションの注目点、それらの共進化等について意見交換が行われました。両教授は今回のシンポジウムで共進化の意義が初めて分つたと述べられ、また東工大のビジョンおよび SIMOT の取り組みに知的共感を得たと語っておられました。

その後両教授は、引き続き、総合科学技術会議等でもイノベーションポリシーなどについて高度な講演をされ、お二人を東工大が招待したことに、これらの機関も謝意を表されました。



左から、渡辺千伊 SIMOT 拠点リーダー、ローゼンバーグ教授、相澤益男学長、ブランスコム教授、菊池隆 SIMOT 特任教授

## 特集

### 第2回年次国際シンポジウム - イノベーションとインスティテューションとの共進化ダイナミズムの解明



今次シンポジウムは、基調講演、ゼネラルセッションおよびブラウンバッグ・セッションにより構成され、SIMOT 分野の世界の第一人者による最先端の講演と併せて SIMOT メンバーが研究の進捗を報告しました。



#### 基調講演

SIMOT では、「イノベーションとインスティテューション」に関する理論および方法論の深化を図ることを目的に、国内外の企業・研究機関で活躍する学者・ビジネスリーダーを毎年招聘し、講演をいただいております。今年はローゼンバーグ教授、フランスコム教授の他、「終身雇用」の概念の最初の提唱者でもある日本的経営の泰斗、ジェームズ・C・アベグレン グロービス経営大学院大学名誉教授、女性ジャーナリストのパイオニア、下村満子 経済同友会副代表幹事、マイクロソフトの東アジア地域のソフトウェア開発の総括を担うマイクロソフト PDL プレジデント、藤井照穂氏の5名の方々にご講演いただきました。

#### 科学とテクノロジー：その因果関係の実態

ネイサン・ローゼンバーグ

米スタンフォード大学 名誉教授



多くの技術進歩において、科学が技術に刺激を与えるのではなく、技術そのものが科学を進歩させているという逆説的な見解について、その因果関係を具体的事例で示しつつ掘り下げた講演をされました。

#### イノベーション「ホットスポット」ハイテク・イノベーションのルーツ：科学、企業そして社会経済ネットワーク

ルイス・M・フランスコム

米ハーバード大学 名誉教授



イノベーションの生み出される地域に偏りが見られることを、米国西海岸地域の例を挙げつつ指摘。その因果関係の解説およびイノベーションを創造するセンターの涵養について講演されました。

#### カイシャの再設計：新たなシステムと不変の価値

ジェームズ・C・アベグレン  
グロービス経営大学院大学  
名誉学長 兼 教授



日本のカイシャの成功と失敗についてその歴史を解説。より高いレベルの価値創造として要求される国際的社会貢献について講演され、トヨタのアクシス鍵は、役員に外国人を入れていることとご指摘されました。

#### 価値観としての“共進化”と日本的経営そして“ソフトウェア”

下村満子  
経済同友会  
副代表幹事



日本人の価値観の底流にある共進化(相互進化)の理念の深化・喧伝の重要性を、女性の社会進出の先鞭を取られたその経験も交えて講演されました。

#### 技術のグローバル・マネジメント

藤井照穂  
マイクロソフト PDL  
プレジデント



統合ソフトのマイクロソフト オフィスを例に、グローバル・ローカル両面の性質を併せ持ち、かつ革新的な製品の開発モデルについて、その有効性・競争力について講演されました。

## ゼネラルセッション

SIMOT メンバーによる研究の進捗報告を主としたゼネラルセッションでは、(1) イノベーションとインスティテューションとの共進化ダイナミズム（国際比較） (2) 日本型技術経営 という二つの視点から SIMOT に関する研究の深化を報告いたしました。

### (1) イノベーションとインスティテューションとの共進化ダイナミズム

「国家戦略・社会制度」、「企業レベルでの組織文化」、「時代背景」の3軸で象られるインスティテューションとイノベーションとの共進化ダイナミズムを、日・米・欧・中・亜について具体的に比較検討を行い、インスティテューションの異なる国でも適用可能な理論・方法論についての提言を行いました。



イノベーションとインスティテューションとの共進化ダイナミズム：比較の視点  
渡辺 千仍  
東工大 経営工学専攻 教授  
SIMOT 拠点リーダー



アジア諸国におけるセクターイノベーションシステム：ソフトウェア分野のケース  
宮崎 久美子  
東工大 イノベーション戦略研究科 教授



IT 基盤と知識による企業改革(米日中比較)  
チャー・グリーブ・ブランク  
米ペンシルベニア大学准教授



未完のプロジェクト：フランスにおける知識社会の構築（日米仏欧比較）  
アラン・マーク・リュウ  
仏リヨン大学哲学部教授



軍事資金調達および冷戦の科学（米ソ比較）  
山崎正勝  
東工大 経営工学専攻 教授



### (2) 日本型技術経営

「インスティテューショナル技術経営学」の基盤となる日本型技術イノベーション創出サイクルを、知的財産も含めた開発から消費・廃棄までのサイクルとして総体的にとらえて、「解明」し、「可視化・操作化」し、「世界価値への昇華」を図ることを目的に、経営工学専攻としての理工学基盤に立脚した開発・生産面からのアプローチと、イノベーションマネジメント研究科の MOT をも包摂した工学的・システマ的な研究成果を、無形資産・知的財産・技術、インスティテューションとの相互作用、IT 投資と経営成果、の3つの視点から報告しました。

#### 無形資産・知的財産・技術



日本の医薬特許の運用とその課題  
佐伯 とも子  
東工大 イノベーション戦略研究科 教授



組織資本の測定・評価  
蜂谷 豊彦  
東工大 経営工学専攻 助教授



基礎技術を製品化する日本の技術  
宮川 雅巳  
東工大 経営工学専攻 教授

#### インスティテューションとの相互作用



安全文化向上による組織事故リスク回避  
伊藤 謙治  
東工大 経営工学専攻 教授



テレワークによる組織改革：日本における導入課題について  
比嘉 邦彦  
東工大 イノベーション戦略研究科 教授



日本文化とものづくりの強み、弱み  
圓川 隆夫  
東工大 経営工学専攻 教授  
兼 イノベーション戦略研究科長  
SIMOT 拠点サブリーダー

#### IT 投資と経営成果 < 経営情報学会協賛 >



ビジネス価値と IT 投資 - CIO の効果  
飯島 淳一  
東工大 経営工学専攻 教授



ビジネス価値と IT 投資 - 組織的視点  
妹尾 大  
東工大 経営工学専攻 助教授



ビジネス価値と IT 投資 - 日本の SME の IT 支出、組織 IQ および経済パフォーマンス  
平野 雅章  
東工大 SIMOT 特任教授



## ブラウンバックセッション インスティテューショナル技術経営学教育の進化

SIMOTでは、同研究分野における世界的リーダー輩出を目的として、内外ハイテク企業・官公庁の最先端のビジネス・行政の経験を有する特任教授主導による中核講義「インスティテューショナル技術経営第一、第二」を17年度に開講しております。

同教育の一環として、今次シンポジウムでは、同講義の受講生のうちの6名によるパネルディスカッションを行いました。参加自由のブラウンバックセッション形式の今パネルディスカッションでは、SIMOT講義内容を踏まえた学生による研究・教育成果発表に対し満席となる大盛況で、産官学多様な分野からの貴重なご意見・議論をいただくことが出来、学生たちにとって貴重な体験となりました。



## 最近の動き

### 海外出張

飯島	3月2日～4日	中国	渡辺	3月16日～21日	フィンランド タンペレ (Innovation Pressure Conference)
宮川	3月2日～4日	中国		3月21日～25日	オーストリア ウィーン (国際応用システム分析研究所)
妹尾	3月2日～4日	中国	曹	3月15日～20日	中国
矢島	3月2日～4日	中国	佐伯	3月19日～25日	タイ
	4月8日～13日	シンガポール			

## イベント予定

### 平成17年度後期 SIMOT RA・ポスドク研究報告会

日時 3月27日(月) 13:15 - 16:30  
場所 東京工業大学 西9号館 311号室

### IMD and Tokyo Institute of Technology Meeting

日時 3月29日(水)  
場所 東京工業大学

14:30-17:00 西9号館 311号室 ワークショップ

18:00-20:00 百年記念館 第一会議室 フォーラム (研究・技術計画学会 国際問題分科会)

テーマ Competitiveness through Co-evolution between Innovation and Institutional Systems

講師 ジョルジュ・アウー氏 (スイス IMD 技術・革新的経営学教授) 他



## ● ● 発行 ● ●



東京工業大学 21世紀 COE プログラム  
「インスティテューショナル技術経営学」SIMOT 事務室

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-51  
東京工業大学大学院社会理工学研究科経営工学専攻内  
西9号館 208B号室  
TEL: 03-5734-2936 FAX: 03-5734-2250  
Email: [nakane@me.titech.ac.jp](mailto:nakane@me.titech.ac.jp)  
URL: <http://www.me.titech.ac.jp/coe/index.html>  
編集者: 菊池 隆